

58 岡山理科大学

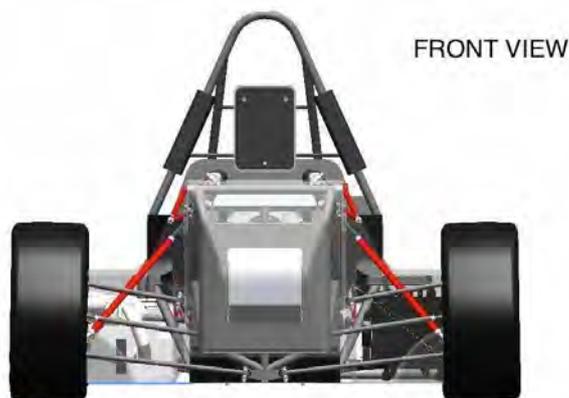
Okayama University of Science

岡山理科大学フォーミュラプロジェクト

Okayama University of Science Formula Project

<http://ous-formula.jimdo.com>

悲願の動的審査完走



今回の総合結果・部門賞

●総合43位

Profile チーム紹介・今までの活動

岡山理科大学フォーミュラプロジェクトは今年で大会参戦5年目となりました。初年度は初参戦ながら車検通過し動的審査出場を果たしましたが、後2年間は車両を完成することもできず、苦しい時期が続きました。今年度は全種目完遂完走をめざし活動してまいりました。

Team-member チームメンバー

兒島 弘訓 (CP)

横溝 精一 (FA)、金枝 敏明 (FA)
谷口 諒敏、永井 大貴、渡部 翔万、山田 達郎、
室山 遼、安田 真一、仲川 昂希、初田 敏、
松田 勇太郎、周 蕊、室山 拓巳、宇野木 圭太、
頭司 直也、松田 洋人

Presentation

プレゼンテーション

我々岡山理科大学フォーミュラプロジェクトは大会参戦5年目という節目となる年になりました。過去3年間動的審査に出場できていないという屈辱を払拭するために1年間活動してきました。今年度は長年続いたシンプルズベストという車両コンセプトから変更し、ドライバビリティーの向上と定め、車両開発を行ってきました。ドライビングポジションの最適化を第一にパッケージングを進め、ドライバーがドライビングに集中できる環境づくりを進め、また足まわりには特徴的なキール構造や安価なダンパーを生かせるジオメトリーを考え開発を進めました。その甲斐あって、コーナリング中では非常に安定した走りを実現することができました。しかし、資金難のため、予定していたスリックタイヤの購入ができず1年半前のタイヤを大会で使用したり、スケジュール管理不足で例年よりは早期シェイクダウンとなったものの、テスト走行が3時間程度しか行なえなかったこと、車両を走らせようとする余り静的審査がおろそかになってしまった等、反省点は数多くあります。来年度はチームのマネジメントを含め、より成長できるよう頑張っていきます。

Participation report

参戦レポート

シェイクダウンがスケジュールから大きく遅れた事により、大会出発前まで準備が続きました。初日から2日目にかけて行なわれた静的審査ではプレゼンテーション審査以外、準備不足が目立ち、昨年度より順位を落とす結果となりました。静的審査は来年へ課題が大きく残る結果となってしまいました。2日目の午前中に行なわれた技術車検では一発合格とはなりませんでしたが、1ヶ所のみ指摘となり簡易車検で正午頃に技術車検通過、その後の車検項目はどれもスムーズに通過することができ、2日目終了時にはすべての車検を無事通過することができました。今年度から前半後半の選択制になったアクセラレーション・スキッドパッド・オートクロスは出走順を天気予報や雨雲レーダーから予測し、前半枠を選択しました。これが功を奏しオートクロスではまだ路面が濡れていない時間帯に走ることができました。しかし、アクセラレーションやスキッドパッドでは練習不足と燃調の設定が甘く、良い順位ではありませんでした。エンデュランスではトラブルを抱えながらも無事完走することができ、燃費審査ではキャブレターながらも8位を獲得することができました。

総合順位は43位とあまり良くありませんでしたが、動的審査を完走できた事は大きな自信となりました。この年を新たなスタートラインとして中堅チームへ定着、上位を狙えるようなチーム作りをめざします。活動を支えて下さいましたスポンサー様、大会関係者、大学関係者、OBの方々にはこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、ソリッドワークス・ジャパン、ミスミ、NTN、
岡山国際サーキット、THK、
日信工業、F、湘本重工業、高下レーシングサービス、
板野機工、山陽レジン工業

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/58.html>